

研究に関するお知らせ

— CT、MRI 検査を受けられた患者さんへ —

琉球大学医学部附属病院では、画像診断のさらなる発展のため、検査結果の画像や所見を後日研究目的で使用する場合があります。このような研究は倫理委員会の審査を受け、承認された後に関連の研究倫理指針に従って実施されます。

研究参加期間:倫理委員会審査承認後 ～ 2018年6月30日

【研究課題】 腎管状嚢胞癌の CT、MRI 所見に関する後ろ向き研究

【研究目的】 本研究は、CT、MRI 所見の考察から、画像所見上の鑑別点を見出し、腎管状嚢胞癌の正確な鑑別診断を行うことを目的としています。

【研究意義】 腎管状嚢胞癌は、稀な疾患であるため、多数の症例を収集することにより、CT もしくは MRI における画像所見を中心に関連性の考察を行います。一般的には進行性ではないとされていますが、進行性であった症例報告も散見されるため、特徴のある画像所見を探求することは、臨床的にも意義のあることと考えられます。

【対象・研究方法】 2005 年以降 2016 年 3 月までに手術、生検により腎管状嚢胞癌または集合管癌または多房嚢胞性腎細胞癌または成人型嚢胞性腎腫または混合性上皮間質性腫瘍と診断され、2015 年 1 月から 2015 年 12 月までに手術、生検により乳頭状腎癌と診断されている、手術前 6 ヶ月以内の CT 検査または MRI 検査の画像データがある患者さんを対象としています。対象となる方のカルテ情報から、性別や年齢などの患者背景、CT または MRI の画像および検査結果を利用させていただき、CT 検査および MRI 検査の有用性を検討します。

【研究機関名】 琉球大学医学部附属病院、広島大学医学部附属病院、弘前大学、亀田総合病院、千葉大学、埼玉県立がんセンター、横浜市立大学、名古屋大学、静岡がんセンター、京都桂病院、川崎医科大学、倉敷中央病院、新古賀病院、大分大学、慶応義塾大学、神戸大学

【個人情報の取り扱い】 研究にあたっては、対象となる方の名前、住所などの個人を特定できる情報を除いて匿名化し、個人を特定できる情報は一切使用しません。また、この研究で得られた研究結果を学会や医学雑誌等において発表する予定ですが、この場合にも個人を特定できる情報は一切利用しません。広島大学が主施設であるため、広島大学へ匿名化されたデータを提供します。データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

【その他】 この研究を行うにあたり、対象となる方に新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。通常の検査により得られた検査結果を使用させていただきます。また、対象となる方に謝金はありません。

この研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。

この研究はバイエル薬品株式会社より、臨床研究契約に基づく資金提供を受けて実施されますが、研究の公正な実施に影響が出ないように配慮しています。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 村山 貞之 琉球大学医学部放射線診断治療学講座 教授

研究担当者: 伊良波裕子 琉球大学医学部放射線診断治療学講座 助教

住所: 中頭郡西原町字上原 207 番地 TEL. 098-895-1162 FAX. 098-895-1420

※ご連絡の際には、お名前/琉球大学医学部附属病院の診察券番号/拒否する研究のタイトルをお知らせください。